

SSP コマンド (ソフトウェア LFO[音程] キーオン非同期モード)

[書式]

SSP

SP コマンドによるソフトウェア LFO を、キーオン非同期モードにします (Software LFO aSync Pitch)。

このコマンド実行すると、1 回目のキーオン以降は常にソフトウェア LFO がかった状態となります。

SP コマンドを再び実行すると、キーオン同期モードに戻ります。

音符の頭とソフトウェア LFO の折り返すタイミングが重なると、ソフトウェア LFO の中心点がずれることがあります。ドライバ設計上の問題による仕様ですので、何卒ご了承ください。

[例]

```
A SP16,6,2,0 cdef SSP gfed SP ceg>c
```

; 「cdef」はキーオン同期、「g fed」は非同期、「ceg>c」は再び同期

関連

SP コマンド